

平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月9日

上場会社名 コンドーテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 7438 URL <http://www.kondotec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 安藤 朋也

TEL 06-6582-8441

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

平成29年11月27日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	25,653	5.0	1,665	1.4	1,711	△0.1	1,139	△1.5
29年3月期第2四半期	24,428	△1.4	1,643	3.1	1,713	3.7	1,157	7.5

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,290百万円 (11.6%) 29年3月期第2四半期 1,156百万円 (21.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	42.53	42.38
29年3月期第2四半期	43.22	43.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	37,316	23,617	63.1
29年3月期	36,524	22,719	62.1

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 23,563百万円 29年3月期 22,668百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	11.50	—	11.50	23.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,550	4.2	3,611	2.7	3,719	2.9	2,524	1.1	94.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	27,957,000 株	29年3月期	27,957,000 株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	1,240,031 株	29年3月期	1,180,171 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	26,800,654 株	29年3月期2Q	26,776,310 株

(注)株式付与ESOP信託が保有する当社株式(30年3月期2Q:30,300株、29年3月期:30,300株)及び株式給付信託(BBT)が保有する当社株式(30年3月期2Q:145,800株、29年3月期: 一株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項につきましては、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続きました。

当社グループ関連業界におきましては、公共投資は堅調さを維持するものの、住宅投資は横ばい圏で推移していることに加え、オリンピック関連事業の顕在化もあり、長引く人手不足による物件の進捗遅れは解消されず、建設需要は引き続き厳しい状況で推移しております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こしなどの営業活動を展開するとともに、産業資材、鉄構資材、電設資材の各セグメントにおいてユーザーのニーズを的確にとらえ、付加価値の高い製品の開発と商品調達機能をさらに強化し、事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,653百万円(前年同期比5.0%増)と増収になりました。

利益面につきましては、仕入原価の上昇による売上総利益率の低下や販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、営業利益は1,665百万円(同1.4%増)、経常利益は1,711百万円(同0.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,139百万円(同1.5%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<産業資材>

国内建設市場は、民間・公共工事ともに堅調に推移し、建築・土木関連商材である物流荷役機器や鉄鋼二次製品、現場用品、ブレースなどが堅調に推移し、当セグメントの売上高は14,602百万円(前年同期比1.5%増)となりました。利益面につきましては、輸入商材等の仕入原価が上昇したものの販売価格への転嫁が進まず、売上総利益率が低下したことに加えて、販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は935百万円(同12.3%減)となりました。

<鉄構資材>

鉄骨需要は、インバウンド向けの宿泊施設、物流倉庫や工場などの中低層物件の需要の増加により、鉄構資材の主要商材である鉄骨部材やブレース、ハイテンションボルト、アンカーボルトなどが比較的堅調に推移し、当セグメントの売上高は6,998百万円(前年同期比15.3%増)となりました。利益面につきましては、売上総利益率はほぼ横ばいで推移し、販売費及び一般管理費の増加を増収効果で吸収した結果、セグメント利益は665百万円(同31.5%増)となりました。

<電設資材>

家庭向け太陽光発電設備関連の売上が増加し、当セグメントの売上高は4,053百万円(前年同期比1.9%増)となりました。利益面につきましては、競合他社との受注競争は依然として厳しい状況にあるものの売上総利益率は横ばいで推移しましたが、創業50周年記念キャンペーン等による販売促進費の増加を主因として販売費及び一般管理費が増加した結果、セグメント利益は66百万円(同6.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末(36,524百万円)と比較して791百万円増加し、37,316百万円となりました。これは、売上債権及びたな卸資産の増加等を主因として、流動資産が775百万円増加したこと等によります。

負債合計は、前連結会計年度末(13,805百万円)と比較して105百万円減少し、13,699百万円となりました。これは、仕入債務の減少等を主因として、流動負債が63百万円減少したこと等によります。

純資産合計は、前連結会計年度末(22,719百万円)と比較して897百万円増加し、23,617百万円となりました。これは、剰余金の配当308百万円の支払いによる減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益1,139百万円の計上による増加等があったことによります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末(62.1%)比、1.0ポイント改善し63.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末（8,660百万円）と比較して303百万円減少し、8,356百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果、前年同期に獲得した資金（1,139百万円）と比較して858百万円減少し、280百万円の資金を獲得しました。

これは、売上債権の増加785百万円及びたな卸資産の増加271百万円、法人税等の支払い496百万円等により資金を使用した一方で、税金等調整前四半期純利益の計上1,711百万円、減価償却費の計上205百万円等により資金を獲得したことによります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、前年同期に使用した資金（280百万円）と比較して83百万円減少し、197百万円の資金を使用しました。

これは、有形固定資産の取得209百万円等により資金を使用したことによります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、前年同期に使用した資金（723百万円）と比較して323百万円減少し、399百万円の資金を使用しました。

これは、株式給付信託（BBT）開始に伴う自己株式の取得155百万円及び配当金の支払い308百万円等に資金を使用したことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想におきましては、平成29年5月11日の「平成29年3月期 決算短信」の発表時に公表した業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,660,366	8,356,787
受取手形及び売掛金	12,671,719	13,283,352
電子記録債権	838,076	1,073,889
商品及び製品	2,811,393	3,021,274
仕掛品	207,541	243,620
原材料及び貯蔵品	338,616	363,804
その他	671,563	634,297
貸倒引当金	△7,697	△9,850
流動資産合計	26,191,580	26,967,176
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,562,962	2,520,660
土地	6,103,466	6,138,100
その他(純額)	883,479	848,762
有形固定資産合計	9,549,908	9,507,522
無形固定資産		
その他	57,003	52,126
無形固定資産合計	57,003	52,126
投資その他の資産		
その他	740,906	806,162
貸倒引当金	△14,509	△16,643
投資その他の資産合計	726,397	789,519
固定資産合計	10,333,309	10,349,168
資産合計	36,524,890	37,316,344

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,355,033	3,016,640
電子記録債務	6,438,356	6,678,493
短期借入金	500,000	500,000
未払法人税等	583,349	611,774
賞与引当金	577,250	526,835
販売促進引当金	—	33,350
その他	875,445	898,978
流動負債合計	12,329,436	12,266,072
固定負債		
株式給付引当金	—	5,919
退職給付に係る負債	1,242,691	1,196,301
その他	232,959	230,961
固定負債合計	1,475,651	1,433,183
負債合計	13,805,088	13,699,255
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,485	2,666,485
資本剰余金	2,452,572	2,454,540
利益剰余金	19,868,122	20,699,786
自己株式	△894,279	△983,957
株主資本合計	24,092,901	24,836,855
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	199,478	292,966
繰延ヘッジ損益	△16,622	10,740
土地再評価差額金	△1,510,852	△1,510,852
為替換算調整勘定	2,631	14,591
退職給付に係る調整累計額	△98,623	△80,427
その他の包括利益累計額合計	△1,423,988	△1,272,981
新株予約権	50,888	53,214
非支配株主持分	0	0
純資産合計	22,719,802	23,617,088
負債純資産合計	36,524,890	37,316,344

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	24,428,356	25,653,224
売上原価	19,011,492	20,110,223
売上総利益	5,416,864	5,543,001
販売費及び一般管理費	3,773,629	3,877,220
営業利益	1,643,234	1,665,781
営業外収益		
受取利息	197	224
受取配当金	1,448	1,566
仕入割引	69,659	71,830
雑収入	33,023	16,069
営業外収益合計	104,328	89,690
営業外費用		
売上割引	27,870	27,290
支払利息	446	500
雑損失	5,818	16,151
営業外費用合計	34,134	43,943
経常利益	1,713,428	1,711,529
特別利益		
固定資産売却益	349	518
特別利益合計	349	518
特別損失		
固定資産売却損	343	34
固定資産除却損	629	179
特別損失合計	973	214
税金等調整前四半期純利益	1,712,805	1,711,832
法人税、住民税及び事業税	523,784	551,434
法人税等調整額	31,692	20,452
法人税等合計	555,477	571,886
四半期純利益	1,157,327	1,139,946
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,157,327	1,139,946

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	1,157,327	1,139,946
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,868	93,488
繰延ヘッジ損益	△313	27,362
為替換算調整勘定	△30,527	11,960
退職給付に係る調整額	27,286	18,196
その他の包括利益合計	△686	151,007
四半期包括利益	1,156,641	1,290,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,156,641	1,290,953
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,712,805	1,711,832
減価償却費	207,840	205,935
株式報酬費用	8,932	4,906
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,557	4,286
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,521	△50,521
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	5,919
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△9,145	△20,208
受取利息及び受取配当金	△1,645	△1,790
支払利息	446	500
固定資産売却損益 (△は益)	△6	△483
固定資産除却損	629	179
売上債権の増減額 (△は増加)	358,339	△785,951
たな卸資産の増減額 (△は増加)	231,143	△271,094
仕入債務の増減額 (△は減少)	△582,622	△98,792
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△86,746	15,353
その他	△39,459	56,130
小計	1,790,431	776,202
利息及び配当金の受取額	1,645	1,790
利息の支払額	△421	△494
法人税等の支払額	△652,081	△496,529
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,139,573	280,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△277,667	△209,127
その他	△3,057	11,757
投資活動によるキャッシュ・フロー	△280,725	△197,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,000	—
自己株式の取得による支出	△418,850	△155,566
自己株式の売却による収入	11	65,276
配当金の支払額	△300,138	△308,302
その他	861	△537
財務活動によるキャッシュ・フロー	△723,116	△399,129
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,179	11,951
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	105,552	△303,578
現金及び現金同等物の期首残高	7,594,671	8,660,366
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,700,224	8,356,787

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	14,380,907	6,070,018	3,977,430	24,428,356	—	24,428,356
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	151,714	46,211	28,815	226,741	△226,741	—
計	14,532,621	6,116,230	4,006,245	24,655,098	△226,741	24,428,356
セグメント利益又は損失(△)	1,066,832	506,366	70,680	1,643,878	△644	1,643,234

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注)
	産業資材	鉄構資材	電設資材	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	14,602,099	6,998,001	4,053,123	25,653,224	—	25,653,224
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	98,776	52,534	50,542	201,853	△201,853	—
計	14,700,875	7,050,536	4,103,666	25,855,078	△201,853	25,653,224
セグメント利益又は損失(△)	935,128	665,866	66,068	1,667,063	△1,282	1,665,781

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。